

# セキュリティ特集によせて



常務取締役

杉本 晴重

Harushige Sugimoto

## 重要性が増す情報セキュリティへの取り組み

IT環境とネットワークの充実、さらには企業自身が有する情報の有効活用などにより、ほとんどの業務プロセスがネットワーク上のITシステムに統合されようとしています。また外出先や自宅からインターネットを通じ、自社のITシステムにアクセスできるようになってきました。このような業務システムの統合化やネットワーク化・モバイル化は、今や企業活動にとって必然である反面、ネットワーク的なセキュリティホールを通じた不正アクセスやコンピュータウイルスによる被害など新しいリスクも生み出しています。情報処理推進機構の2004年度統計によればウイルス検出数は約5万2千件、不正アクセスは届け出のあったものだけで594件となっており、2005年度も同様のペースで推移しているようです。被害の形態はシステム停止やデータ損失だけではありません、現在最も注目されているのは情報の漏洩、とりわけ個人情報の漏洩です。内閣府の発表によれば2004年度の個人情報漏洩事故は405件とのことですが、その中には一度に数十万もの個人情報が漏洩したケースもあります。2005年4月に個人情報保護法が全面施行されましたが、その後も情報漏洩事件は多く発生しており、通信販売大手や電子モール大手の個人情報漏洩事件は記憶に新しいことと思います。

情報セキュリティに関するリスクは、企業の業務遂行を脅かすだけでなく、お客様からの信用失墜と社会的責任という観点でも重要な対策項目であり、早急な対応が必要になっております。本号（セキュリティ特集）では、このような背景から、当社が提供する情報セキュリティに関する主要なプロダクトとサービスをご紹介します。

## 当社の取り組み

当社は、「ネットワークソリューションの沖電気」として「e社会<sup>®\*1)</sup>」に貢献するという企業ビジョンを掲げ、以下の3つの視点でその実現に取り組んでまいりました。

\*1) グローバルに張り巡らされたネットワークを基盤として、時間と空間の制約、国・地域や文化の違いを超え、あらゆる社会活動が「個」を中心に公平で安全、確実に行われる社会。e社会は沖電気工業(株)の登録商標です。

① いつでも、どこでも、誰とでも

② 欲しい情報を望む形で

③ 安全に、確実に、適正な価格で

この中でも、一人ひとりのお客様に対する安心の御提供は当初より最重点課題として捉え、多様なプロダクト・システム・サービスをワンストップで御提供するとともに、これらを活用した当社自身のセキュリティマネジメント強化を図ってまいりました。

## 当社の提供する情報セキュリティ対策

情報セキュリティ対策は以下のような2つの課題を有しています。

### ●技術的課題

ITシステムとそれを支えるネットワーク技術が複雑化しているだけでなく、外部からの攻撃が多様かつ巧妙になっており、網羅的な対策を打つためにはシステムに対する広範囲な経験と専門知識が必要となっている。

### ●人為的課題

書類（紙）あるいはモバイルPCの紛失のように物理的メディアからの情報漏洩や、社員による内部からの意図的情報漏洩など、主に「人」に起因する情報漏洩リスクへの対策にも配慮する必要がある。

情報漏洩の80%以上が内部の人間による過失あるいは犯行との見方もあるように、技術的な防止対策を個別に施すだけでは十分ではありません。自社の情報資産とそれらが置かれている環境を良く分析し、自社の目指すセキュリティポリシー（何が重要で、コストパフォーマンス目標をどこに置くか等）を設定するとともに日々の運用の中でその遵守状況の確認や環境変化に沿った見直しを適宜行っていく必要があります。すなわち情報セキュリティ対策では、分析と対策をスパイラル的に繰り返し、セキュリティレベルの維持向上が着実に実施されるようなマネジメントシステムを構築することが重要と言えます。

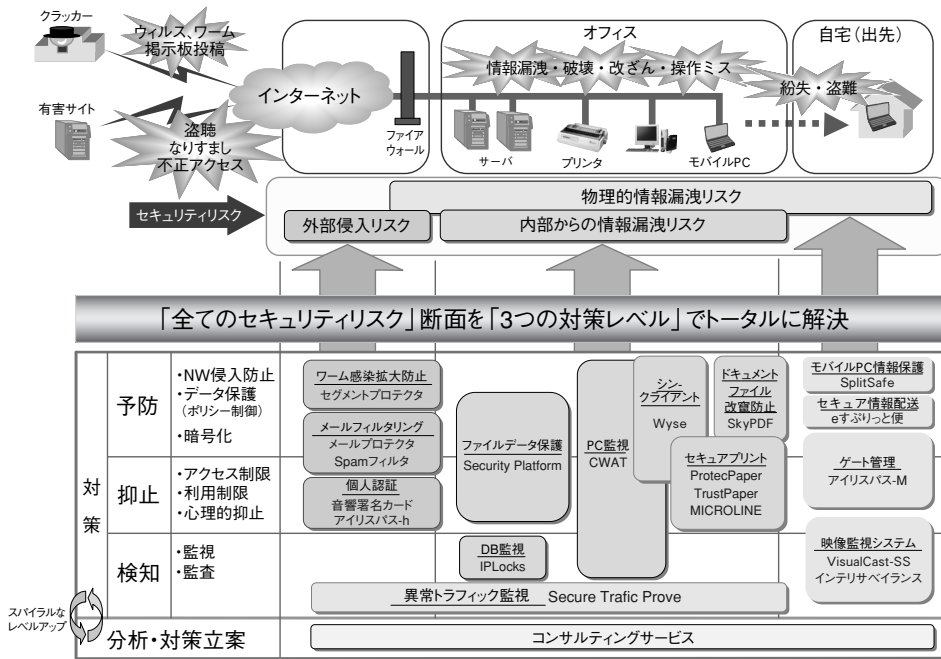


図1 当社の情報漏洩対策システム体系

(1) コンサルティングサービス

セキュリティのマネジメントシステムを構築するためには、お客様自身の保有する情報資産の分析と対策立案が重要であることは先に述べたとおりです。しかし、どのようなセキュリティツールを活用するか、人為的リスクをどのような観点で分析すれば良いか、さらには情報へのアクセシビリティとセキュリティレベルのトレードオフをどこに置くかといった課題は複雑で、どこから手を付ければ良いか迷われるお客様もいらっしゃると思います。当社では、このリスクの分析やマネジメントシステムの設計・構築・運用、さらには維持管理に至るまで、お客様のセキュリティ全てのライフサイクルをワンストップで御支援できるよう、コンサルティングサービスを提供しております。

(2) プロダクト・システム

当社ではセキュリティ対策のレベルに応じ、さまざまなプロダクトやシステムを提供しておりますが、とりわけ企業にとってインパクトの大きい情報漏洩対策に注力しております。図1は当社の情報漏洩に関するプロダクト群を、対策レベルとリスク対象の観点から図示したものです。お客様のITシステム環境やご要望に応じ、最適なソリューションを御提供できるよう、多様なプロダクトが用意されていることがお分かりいただけたと思います。当社の特長としては情報漏洩の主たる要因である内部からの情報漏洩、特に紙やCD-ROM、モバイルPCのよう

な物理的メディアに対する対策手段が充実している点が挙げられます。

具体的には、独自の微細地紋を紙に印刷することにより漏洩を抑止するセキュアプリントシステム (ProtecPaper<sup>®</sup>\*2)、この地紋技術が組み込まれたプリンタ (MICROLINE<sup>™</sup>\*3)、あるいは企業間で情報を授受する際に秘密分散法によって機密情報を分割格納してデータを保護するシステム (eすぷりっと便<sup>™</sup>\*4)、モバイルPCの紛失対策を簡単かつ安価に実現する情報分散プロダクト (SplitSafe<sup>™</sup>\*5) などが挙げられます。(これらプロダクトやシステムの詳細は後の各章で紹介しております。)

おわりに

当社は今後の注力領域の一つとしてモバイル環境に対するセキュリティ対策があると考えております。無線LANの普及やモバイル機器の高度化に伴い、オフィス外に情報を持ち出す機会も情報量も確実に増えて行くでしょう。ネットワークを介した便利で有用なサービスも場所やセキュリティを気にせず使いたいと思うはずで、このような場合に、遍在するセンサとネットワークを駆使し、利用者の状況を自動的に認知することによってセキュリティレベルを最適化してくれる仕組みが必要になるでしょう。当社ではこのような個人の活動の場面に応じたセキュリティの仕組みのあり方と技術開発にも積極的に取り組んでおり、その一部を本特集号で御紹介しております。

近年は企業の社会的責任 (CSR:Corporate Social Responsibility) の範囲が大きく拡大しています。特に「お客様への誠実な対応」は従来に増して重要な項目となっています。情報セキュリティ対策は企業自身の秘密情報を守るだけでなく、漏洩によるエンドユーザの被害を防ぐという観点でも重要性が増してきていると言えるでしょう。当社は、安心な「e社会」を実現するために、またお客様のセキュリティニーズにタイムリにお応えするために、今後も最先端の技術開発に取り組んでいく所存です。 ◆◆

\*2) ProtecPaperは沖電気工業(株)の登録商標です。 \*3) MICROLINEは(株)沖データの商標です。 \*4)eすぷりっと便は沖電気工業(株)の商標です。  
 \*5) SplitSafeはドイツLiving Byte Software社の商標です。